

ご存知でしたか？

第2弾 /

素敵な笑顔があふれる入れ歯の種類

前回発行したかわたに通信でご紹介させて頂いた、自由診療で行う入れ歯の種類は3種類でした。今回はより、それぞれの入れ歯の素敵などところをご紹介していきます。
 “こんな入れ歯もあるのねー”“こんなことができるようになるのねー”と素敵などところを感じていただけるかと思えます。



ノンクラスプデンチャー(入れ歯)

2歯 ¥150,000～

ノンクラスプデンチャーとは、見えるところに金属を使用しない、樹脂性の入れ歯のことです。
 金属が見えずオシャレですが、たくさんの歯を失ったケースでは使用できないことがあります。



金属床義歯(入れ歯)

片顎 ¥200,000～

金属床義歯とは、入れ歯のピンク色の歯茎の部分に金属で作る入れ歯のことです。写真で分かるように金属は一部のみですので、口に入れたときに、外から金属が見えることはありません。
 金属の種類にコバルトクロム、チタン、金があります。



厚みを薄く作ることができる

薄く作ることによって違和感も軽減し、お話ししやすいです

熱がよく伝わる

食事の時の食べ物の熱さ、冷たさをより感じやすく、美味しく食事することができます

丈夫で割れにくい

少しの衝撃でも割れにくいです

清潔に保ちやすい

金属の表面が滑らかで、汚れや細菌が付きにくく、洗浄もしやすいです

コーヌスタイプ義歯(入れ歯)

設計により金額が異なります

コーヌスタイプ義歯とは、部分入れ歯のようにバネや他の歯に維持を求めるような形式ではなく、残っている歯に内冠という金属の冠を被せて、入れ歯の内部分に作られた外冠で装着時に一体化するような入れ歯のことです。



しっかり噛むことができる

薄く作ることによって違和感も軽減し、お話ししやすいです

見た目がきれい

部分入れ歯のようなバネが必要ないので、見た目も気になりやすいです

形全体を小さくすることができる

より違和感が少なく、お話ししやすいです

ご相談などがあればスタッフにぜひ気軽にお声掛けください!